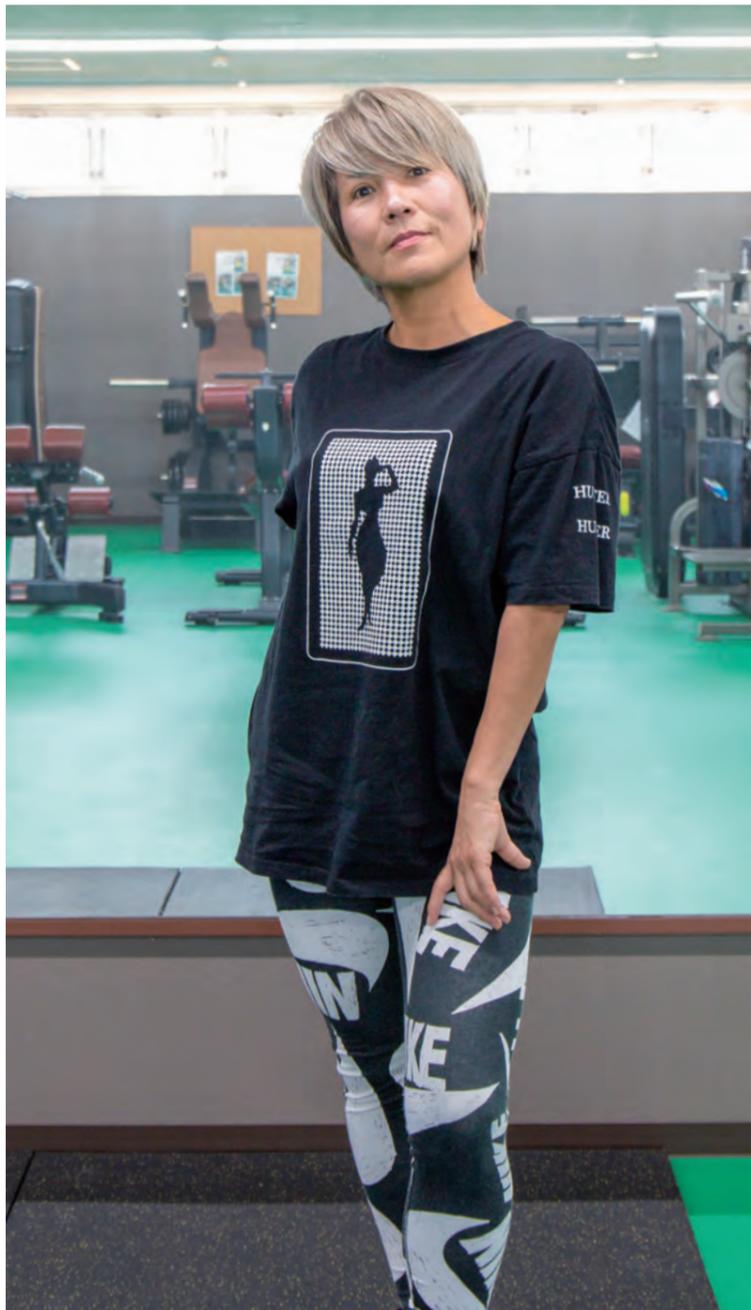


実は隣のスゴイ人

SYBダンスカンパニー 代表

岩崎 小百合さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、南綾さんにご紹介いただいたこの方は「曾於市でダンスと言えばさゆり先生。みんなに慕われる超パワフルなスゴイ人」のこと。



今回は大隅町岩川でSYBダンスカンパニーの代表をされている岩崎小百合さんに話を伺いました。都城市出身の岩崎さんは、看護師として都城の病院で勤務する中で予防医学に興味を持ち、フィットネストレーナーの資格を取得。その後、都城市のジムでフィットネストライクタワーとして活動を始めました。

「ダンスの経験はまったくありませんでしたが、テレビの音楽番組に映るダンサーを見て、いいなと思う振り付けがあればすぐに真似をして覚えめました」

当時は今のようにインターネットやSNSが普及していなかったため、ダンスは独学で身に付けました。

結婚を機に大隅町に移住した岩崎さん。26歳のときに「地域のみならずダンスの楽しさを伝えたい」との思いからSYBダンスカンパニーを開校。最初は旧大隅中央公民館で保育園の先生や保護者にダンスを教えることから活動が始まりました。現在は生きいき健康センターで週1回、小学生にダンスを指導するほか、志布志町や有明町でも教室を開いています。それから都城市と宮崎市のジムでは、成人向けにダンスやヨガストレッチを教えています。

「ダンスの技術も大切ですが、まずは楽しんで踊ってもらうこと。あいさつや元気な表情も大切にしています」

初心者にはリズムの取りやすい曲を使う

など、一人ひとりに合わせた指導を心掛けています。中高生が小学生にダンスを教える場面もあり、教える側も学びながらスキルアップできる良い循環が生まれているとのこと。

「教え子が福岡でダンサーとして活躍したり、卒業生がアシスタントとして子ども達を教えるにきてくれることが嬉しいです」

33年を迎えるSYBダンスカンパニーの卒業生は数えきれないほどおり、親子三代で習いに来る人もいます。地域に根ざしたダンス教室として親しまれています。また祭りやスポーツイベントにも出演し地域を盛り上げています。

「会場のお客さまがよく知っている曲を選び、会場全体で盛り上がりながら元気を届けたいです」

とダンスを披露する際の思いを語ります。

曾於市総合大学では30年にわたりダンス教室の講師として活動をしています。さらに都城市では高齢者のダンスチームを結成し、東京都で開催される全国大会への出場を目指して練習するなど新たな挑戦も始まりました。

「ダンスを始めた当初は還暦までは頑張ろうと思っていましたが、教室の後継者が見つかるとは思いませんでした。それから大好きなサザンオールスターズのバックダンサーもやってみたくて！」

と笑顔で今後の目標を話してくれました。

SYB DANCE COMPANY



SYB ダンスカンパニー木曜日クラスの生徒



木曜日の妻たちクラスの皆さん